

毎日駅頭で「戦争法廃止」

署名台にほうき立て「戦争ホーキ」

浜松

浜松駅北口で毎日午前11時〜正午、戦争法廃止の2000万署名の署名台が置かれます。「よかったら署名して」とやわらかく呼びかけるのは、「浜松駅前毎日スタンディングの会」の高橋万記子さん(62)と門奈陽子さん(68)。顔見知りの老夫婦が「署名も、やってるんだね。していくよ」と寄ってききました。(今村一路)

署名台には、「戦争ホーキ」のカードをつけたほうき2本がくくりつけられ、「NO! 戦争法」の横幕が掲げられています。雨の日はぬれるので署名台は出せません。拡声器はありません。「かえって通行人が気軽に話しかけてきて、対話の場になり戦争体験なども話してくれるんです」と説明する高橋さん。

吸い寄せられるようにペンを握った外村由香さん(通訳業)は「機会があればしようと思っただ。こうして街に立って来てありがたい」と語りました。

広げよう
2000万署名

私にも何か
高橋さんと門奈さん2

「私も」と通行人が気軽に



署名を呼びかける(左から)門奈さん、高橋さん=浜松駅北口

「浜松駅前毎日スタンディングの会」の連絡先は090(4191)0902(高橋さん)。

市内では週1、2回のスタンディングが十数カ所に広がっています。和合町に立つ堀川ふくさん(60)は近くの駅前でも始めました。「見知らぬ人が『私も』署名集めていきますよ」と声をかけてくれ、励まされます。同区鴨江で立つ布施晴美さん(64)は「地元に見えるように、やり続けられることが大事」と話します。道行く人に渡すチラシには「さあ、みんな街にでましよう」との呼びかけ文が躍っています。

人での浜松駅前です。スタンディングを始めたのは戦争法が強行(9月19日)されたときから。

高橋さんは、それまでも一人で場所や時間を変えながらスタンディングをしていました。憲法違反の戦争法案が浮上して、「私にも何かできないか」とフェイスブックを見ると、一人でスタンディングをしている人が

いることがわかり、6月12日からプラカードを持って立っていました。安倍政権の強引な姿勢に危機感を抱いた高橋さん。浜松駅前の反対行動で門奈さんと一緒に「土日以外なら立てる」という高橋さんに、「土日大丈夫」と門奈さん。「どちらかがいればいつでも参加したい人が来られるね」と決め、休みなく立ち続けています。ときには数人の仲間が加わることもあります。

高橋さんは、中区和合町や東区でも週3回立っています。さらに「サインレント・スタンディングはプラカードなどを持って、買い物客や通行人に見てもらって宣伝なので、誰でもできます」と呼びかけ、自分の地域でやりたい人の相談にものっています。

さあ、街に

12/12 5時